

災害などの安全祈願 社長が社員 590 名にお守り配布の行脚へ 一人一人に想いを込めて手渡し 2024年1月10日(水)から出発

リフォーム事業を中心に4社の子会社を持つMED Holdings株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：佐々木洋寧）は毎年神田神社（江戸総鎮守 神田明神）への初詣を行った際、全社員分のお守りを購入し、全国の社員へ佐々木が手渡ししています。2024年は過去最多590名の社員へのお守り配布のための全国行脚が1月10日（水）からスタートします。

■震災をきっかけにスタート、お守り一つ一つに想いを込める
この取り組みは東日本大震災翌年の2012年からスタートしました。東日本大震災によって当社仙台支店の社員やオフィス、顧客、製品供給元の工場などが被害に遭い、当社は多額の損害と売上の低迷による経営危機に襲われました。そのため震災の翌年から、商売繁盛はもちろんのこと、社員の交通安全、工事安全、家内安全、無病息災を佐々木自らが社員を代表して神田神社にて祈願し、その想いを込めたお守りを社員全員に手渡しで配布するようになりました。

2024年1月1日には能登半島地震が起きました。当社に大きな被害はなかったものの、年末年始に帰省していた社員が被害に遭いました。改めて社員とその家族の今年1年間の安全と健康で安心して働ける環境を維持できるようお守りに想いを込め、遠方社員に対してもその想いを直接届けるために、過去最多人数となる590名の社員へのお守り配布行脚が1月10日よりスタートします。

※2024年1月1日に発生した能登半島地震による被害を受けた皆様には心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。そして、一日も早い復旧と安心安全な生活をお祈り申し上げます。

【お守り配布全国行脚の詳細】

期間：2024年1月10日（水）～1月31日（水）

対象者：MED Holdings 株式会社のグループ全体社員 590 名
（MED Communications 株式会社／MED Communications 東日本株式会社／MED Communications 西日本株式会社／MED Engineering 株式会社）

行脚先：北海道札幌市／宮城県仙台市／群馬県太田市／
栃木県下野市、小山市／茨城県ひたちなか市／
東京都大田区、立川市、八王子市、港区／
千葉県千葉市、松戸市／神奈川県横浜市、大和市／
埼玉県さいたま市／愛知県名古屋市／大阪府吹田市／
奈良県奈良市／広島県広島市／福岡県筑紫野市／熊本県熊本市



神田神社に社員を代表してご祈禱頂き、お守りを受け取る



社員へお守りを配布するための準備を自ら行う



一人一人にお守りを手渡しする